

いま

令和元年東日本台風 | まちづくりの目標

しゅぽつしんこう!

共に立ち上がろう

# 次代につなぐ 新たな丸森づくり

丸森町復旧・復興計画



令和2年10月  
丸森町

# まちづくりの目標

いま 目標のために取り組むこと

## 町長からのメッセージ

まるもりまちふっきゅう ふっこうけいかく  
丸森町復旧・復興計画ってなんだろう？

令和元年10月12日の台風は、大切な命だけでなく、たくさんの家が失われるなど、私たちのふるさと丸森に大きな被害をもたらしました。この「復旧・復興計画」は、これからどのようにして今回のような被害を防ぎ、減らしながら、より安心な生活を送ることができる、新しいまちづくりを進めるための目標をまとめたものです。目標が一日も早く実現できるよう、みなさんと一緒に考え、行動していきます。



まるもりちょうちょう  
丸森町長  
ほしな くにお  
保科 郷雄

## 令和元年東日本台風による被害の状況と町の問題

まち もんだい  
町の問題

### 令和元年東日本台風の主な被害

- 人的被害 死者10人、災害関連死1人、行方不明者1人
- 建物被害 全壊115棟、大規模半壊248棟
- 道路や川、小学校などの被害額 約472億円

- 台風被害からの復旧・復興
- 災害に強いまちづくり
- 少子高齢化 など

### 丸森町復旧・復興計画の役割

復旧・復興を実現するために、目標を決めて、問題を解決するための行動を示すものです。

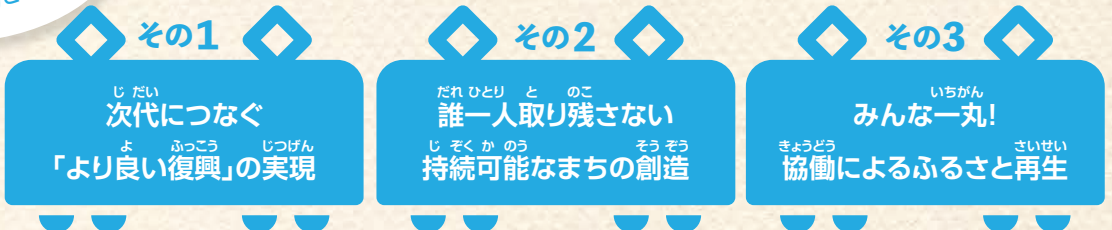
### 復旧・復興計画の期間

令和2年度 (2020年度) ▶ 令和6年度 (2024年度)

復旧・復興のイメージ  
復旧・復興には線路や電気が必要！  
電車が走るには線路や電気が必要！  
復旧・復興では人+目標+行動の  
どれが欠けても成り立たない！

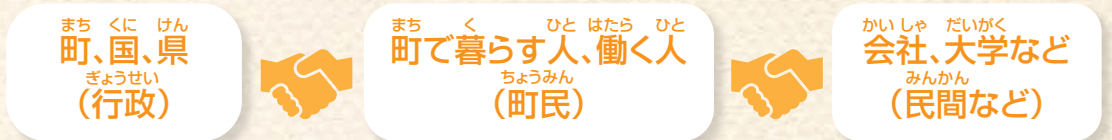
### 復旧・復興の合言葉

『共に立ち上がろう 次代につなぐ新たな丸森づくり』



3つの  
大きな目標

復旧・復興に 取り組む人たち



3つの大きな目標に向かってみんなが一丸となって行動し、復興を果たした新しいまちを、次代(若い人たち)へつないでいきます。

どうしてこの冊子ができたのかな？

町の復旧・復興計画は、世界の国々が参加する会議で決められた  
新しい考え方や、世界共通の目標を取り入れています。

## より良い復興(ビルド・バック・ベター)

- 災害から復興するときに、次の災害が起こることも考え、もっと災害に対して強いまちづくりを行うという考え方です。
- 例えば、危険な場所にできるだけ住宅をつくらないことや、町民が安全に避難できるようにすること、災害に強い川をつくることなどがあります。
- 今回の災害から学んだことを生かして、より良い復興(ビルド・バック・ベター)につなげていきます。

ビルド・バック・ベター：(英語：Build Back Better)は、2015年に仙台市で開催された第3回国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組」で公式に定義されています。

## 持続可能な開発目標(SDGs:エスディー・ジーズ)

- SDGsとは、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。
- 17個の目標(ゴール)を決めて、貧困やエネルギー、地球の環境変動など、いろいろな問題を解決しながら、2030年までに持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。

持続可能な開発目標は英語で、Sustainable Development Goals(サステナブル・デベロップメント・ゴールズ)と表され、それぞれの単語からアルファベットをとって、SDGs(エス・ディー・ジーズ)と表しています。

### 17個の目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	

わたしたちの暮らしをより良くするには  
なにが必要かな？

# 安らぎのある 私たちの暮らし



1 貧困をなくそう



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



11 住み続けられるまちづくりを



さいがい いえ うしな ひと あたら いえ た し えん おこな  
災害で家を失った人が、新しく家を建てなおすための支援を行ったり、  
こわ ちやうえいじゆうたく あたら た  
壊れた町営住宅を新しく建てなおしたりします。

がっこう  
学校にはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを置いて、  
なや ふ あん おも そうだん  
みんなの悩みや不安に思っていることを相談できるようにします。

あ ぶ くまきゅうこうせん せん ろ つきのき  
阿武隈急行線の線路などをなおし、これまでのように「槻木」から  
ふくしま うんこう  
「福島」まで運行できるようにします。

こわ どうろ くるま ちやうみん まる  
壊れた道路をなおし、車や町民バス、デマンドタクシー「あし丸くん」  
うんこう  
がこれまでのように運行できるようにします。

こ こうれいしゃ おお ひと まな ぶん か ふ  
子どもから高齢者まで多くの方が、学びや文化に触れたり、スポーツ  
たの  
を楽しめるようにしたりします。

じ ぶん す まるもり す ひと ふ  
自分が住む丸森が好きだという「人」を増やしていきます。



# 災(さい)害(がい)に強(い)いまち(まち)づ(づ)く(く)り

さいがい お ば あい ひ なん じ ぶん いのち まも  
 災害(さいがい)が起きた場合(お ば あい)、すぐに避難(ひなん)ができるようにしたり、自分の命(いのち)を守る  
 こうどう と  
 行動(こうどう)が取れるようにしたりします。

さいがい じ たが たす あ ち いき  
 災害(さいがい)時(じ)にお互(おたが)いが助け合(たす)える地域(あち)にしてい(い)きます。

さいがい か せん ど しゃくず お  
 災害(さいがい)にあつた河川(かせん)をなおしたり、土砂崩(どしゃくず)れが起きないよう(お)にしたりして、  
 あんぜん く  
 みんなが安全(あんぜん)に暮(く)らせるようにします。

やま き き しょくりん さいがい お  
 山(やま)の木(き)を切(き)ったら植林(しょくりん)など(お)をして、災害(さいがい)が起きにくい(お)ようにします。

まいとし がつ にち ちんこん ひ さいがい わす ふっこう ちか  
 毎年(まいとし)10月(がつ)12日(にち)を「鎮魂(ちんこん)の日(ひ)」として、災害(さいがい)を忘(わす)れず、復興(ふっこう)を誓(ちか)います。



3 すべての人に健康と福祉を



6 安全な水とトイレを世界中に



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



いまから考えられる  
 住みやすい、魅力的な町にする方法は？

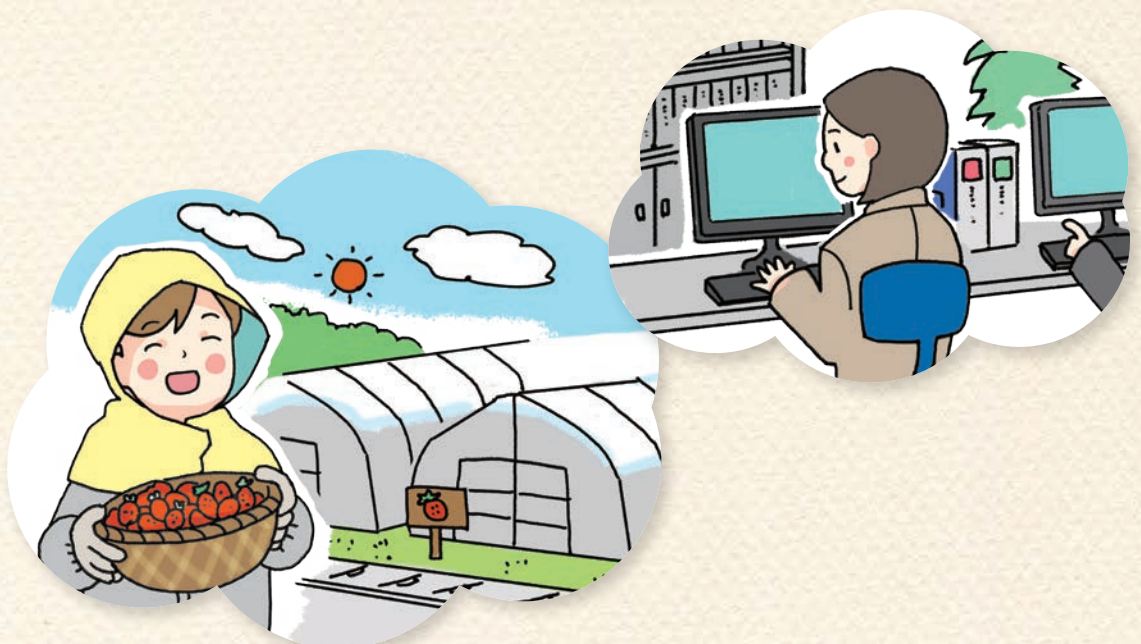
## 元 気 の あ る 町 の 産 業

災害にあった農地をなおしたり、これまでよりも野菜やイチゴなどの作物を増やしたりして、農業を盛んにしていきます。

商工業を営んでいる人が、これまでのような経営ができるようにしたり、イベントなどで商店街を盛り上げたりして、にぎわいのある町にします。

災害にあったキャンプ場や齋理屋敷などの観光施設をなおしたり、丸森の自然を生かした観光によって、国内や国外からの観光客を増やしたりします。

町の特性を生かして、新たな仕事をつくり、町内で働く人を増やします。



2

飢餓をゼロに



5

ジェンダー平等を実現しよう



6

安全な水とトイレを世界中に



8

働きがいも経済成長も



12

つくる責任 つかう責任



13

気候変動に具体的な対策を



15

陸の豊かさも守ろう



# 将来のまちの姿

目標のために取り組むこと | 防災・減災への備え



## 将来のまちの姿

丸森町では、これまで経験したことのない大きな災害からの復旧・復興だけでなく、高齢化や人口減少などにも対応しながら、みなさんが大人になっても安心して生活できる持続可能なまちにしていきたいと思います。

これは、丸森、金山、筆甫、大内、小斎、館矢間、大張、そして耕野の各地区の個性や生活、仕事を大切にしなが、それぞれの歴史や文化も将来へしっかりと伝えていこうとするものです。

そうした将来のまちの姿を、みなさんと一緒に考えていきましょう。



あなたが思う、丸森町に必要なことはなんですか

5年後の町はどうなってほしいですか

あなたが大人になるころ、どのような町になってほしいですか

これからできることって何だろう？

町が願うこと ~令和元年東日本台風を経験したみなさんへ~

丸森町では、令和元年東日本台風を経験したみなさんが、将来、災害にあっても、自分の命を守り、ともに助け合うことができるように、防災・減災について考え、行動することを願っています。

そのため、災害が発生した時は、「自分だけは大丈夫」と思いこまず、避難できるように、災害に関する知識を身につけ、日ごろから備えていきましょう。

出典：仙台市民が仙台防災枠組から考える事例集「未来へつなごう私たちの BOSAI 2020」

**防** 災訓練に参加する

- ・防災訓練に参加する
- ・避難する場所を知るなど

**防** 災・減災を学ぶ

- ・自分のできること、役割を認識するなど
- ・防災・減災講座を受講する

**備** える

- ・防災グッズをそろえる
- ・家の中の安全性を高めるなど

**地** 域を知る

- ・過去の災害を知る
- ・まちあるき探検をするなど

これまで丸森町で発生した主な災害の種類

<b>こうずいがい 洪水害</b>	<p>おおあめ げんいん か せん りゅうりょう いじょう ぞう 大雨などが原因となり、河川の流量が異常に増加することで、堤防が決壊したり、河川の水が堤防を越えたりして、周囲に被害が及ぶこと。</p>
<b>しんすいがい 浸水害</b>	<p>おおあめ はいすい お ようすいろ 大雨などにより、排水が追いつかず、用水路などがあふれること。</p>
<b>どしゃさいがい 土砂災害</b>	<p>しゅうちゅうこう  やま かわそこ どしゃ いっき 集中豪雨によって山や川底の土砂などが一気にかりゅう お なが どせきりゅう やま しゃめん 下流に押し流される土石流や、山の斜面などがとつぜんくず くず し 突然崩れるがけ崩れや地すべりのこと。</p>



洪水害:  
きじおがわ  
雉子尾川  
(金山地区)



浸水害:  
町役場周辺  
(丸森地区)



土砂災害:  
町道(筆甫地区)

出典：みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」

復旧・復興の全般的なお問い合わせはこちら

■発行:丸森町

宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120番地 TEL 0224-72-2111(代)

■編集:丸森町復興推進室

TEL 0224-87-6590(代) FAX 0224-72-3043



丸森町ホームページ  
(丸森町復旧・復興計画)

まるもり安心・安全メール

町の防災・防犯に関する情報が、みんなの携帯電話などにメールで届きます。ぜひ、登録してみましよう!

